

全国数学教育学会 令和元年度総会・第50回研究発表会 プログラム

日時：令和元年6月29日(土)・30日(日) 於：さいたま市民会館おおみや(29日)・埼玉大学(30日)

<第1日> 6月29日(土) (於：さいたま市民会館おおみや 小ホール)

13:30	<p>〔特別企画〕東アジアにおける数学教育学の国際共同研究に向けて 《Keynote lectures》</p> <p>Lianghuo Fan Direction of research in mathematics education and trend of international collaborative research in China</p> <p>JeongSuk Pang Direction of research in mathematics education and trend of international collaborative research in Korea</p> <p>Tin Lam Toh Mathematics Education Research in Singapore</p>
15:15	休憩(15:15~15:30)
15:30	<p>〔特別企画〕東アジアにおける数学教育学の国際共同研究に向けて 《Panel discussions》</p> <p>Theme Promotion of Collaborative Research in East Asia</p> <p>Co moderators: Maitree Inprasitha and Nguyen Chi Thanh</p> <p>Panelists Lianghuo Fan, JeongSuk Pang, Tin Lam Toh and Takeshi Miyakawa</p>
16:30	
開会行事・総会(16:30~18:00)	
懇親会(18:30~20:30) 会場：パレスホテル大宮 4階 ローブルーム	

全国数学教育学会 令和元年度総会・第50回研究発表会 プログラム

<第2日> 6月30日(日)午前 (於: 埼玉大学全学講義棟1号館)

※1件の研究発表の時間は30分(発表15分・質疑応答15分)です。プロジェクトは各教室に常設されています。PGは発表者がご持参下さい。また、発表前にプロジェクトの動作確認をしてください。

		A会場 (1-206講義室)	B会場 (1-207講義室)	C会場 (1-302講義室)	D会場 (1-304講義室)	E会場 (1-402講義室)	F会場 (1-403講義室)
1	9:00	A-1 大林将呉 (熊本大学教育学部附属小学校)	B-1 張敬祺 (広島大学大学院生)	C-1 中村剛 (広島大学大学院生・広島県立竹原高等学校)	D-1 須藤絢 (函館工業高等専門学校・はこだて未来大学大学院生)	E-1 佐伯映美鈴 (岡山大学大学院生)	F-1 Mulia Putra (広島大学大学院生)
	9:30	操作的原理に基づく図形指導に関する研究開発	カリキュラム難易度から見た新時代の統計のリテラシーに対する要求—日本平成時代の算数・数学科における統計内容難易度の変化	集団における数学的理解過程の語用論的考察—集団と個の差異に着目して—	ザンビアの生徒が持つ整数計算技能について～数直線の捉え方に焦点をあてて～	インフォーマルな表現とフォーマルな表現を結ぶ算数学習に関する研究	How Students Who Hate Mathematics solve a Mathematical Problem: An Ethnomathematical Perspective
2	9:35	A-2 宮脇真一 (熊本大学大学院)	B-2 渡邊耕二 (宮崎国際大学)	C-2 和田信哉 (鹿児島大学)・上ヶ谷友佑 (広島大学附属福山中・高等学校)・中川裕之 (大分大学)・影山和也 (広島大学)・山口武志 (鹿児島大学)	D-2 長沢圭祐 (新潟市立大形小学校)	E-2 川崎隼 (埼玉大学大学院生)	F-2 Nur Robiah Nofikusumawati Peni (広島大学大学院生)
	10:05	初等数学教育における「生産的練習 (Produktives Üben)」に関する研究	日本の生徒が持つ数学的リテラシーの特徴の変化について—確率・統計分野に注目した分析から—	記号論による数学における考察対象の分析—平方根の導入を通して—	「単位量当たりの大きさ」における練り上げの阻害要因—Argumentationを視点として—	小学校算数科における絵図を用いた文章題解決に関する研究	Investigating Ethnomathematics Curriculum through Realistic Mathematics Education
休憩 (10:05～10:20)							
3	10:20	A-3 青谷章弘 (広島大学附属東雲中学校)・吉村穰 (広島大学大学院生)・林雄介 (広島大学)・平嶋宗 (広島大学)	B-3 岩崎秀樹 (広島大学名誉教授)・阿部好貴 (新潟大学)・杉野本勇氣 (長崎大学)	C-3 上ヶ谷友佑 (広島大学附属福山中・高等学校)・大谷洋貴 (日本女子大学)・中和渚 (関東学院大学)・福田博人 (岡山理科大学)	D-3 松尾勇希 (広島大学大学院生)	E-3 古本温久 (関西大学大学院生)	F-3 Sommay Shingphachanh (広島大学大学院生)
	10:50	三角ブロックモデルを用いた1次方程式の指導～思考を共有できる空間の提供とその効用～	数学教育研究は必要か—数学的リテラシーの今日的意義—	RadfordのJoint Laborの観点から見た対話記録の科学的意義—洞察に富む授業でなければ「データ」にならないのか?—	数学教師に求められる素養としてのタスクデザインに関する研究—PKGを基盤としたタスクデザインの理論的枠組みの考察—	デジタルノートの導入に伴う授業デザインの強化と変換に関する検討	Identifying Mathematics Teacher Educators' Professional Learning and Issues in Lesson Study Approach in Laos
4	10:55	A-4 西山航 (岡山大学大学院生)	B-4 影山和也 (広島大学)・上ヶ谷友佑 (広島大学附属福山中・高等学校)・青谷章弘 (広島大学附属東雲中学校)	C-4 長江優衣 (広島大学大学院生)	D-4 森田大輔 (東京学芸大学大学院生)	E-4 中和渚 (関東学院大学)・松尾七重 (千葉大学)	F-4 Samah Elbehary (広島大学大学院生)
	11:25	文字式の証明における具体と抽象の往還についての研究—操作的証明をもとに—	リテラシーとしてのComputational thinking論	数学科授業における対話分析	数学教師教育研究におけるライフストーリーの適用可能性	研修前後の保育者の算数に関する専門的職能成長の変化	Insights into the Learning and Teaching of Probability in Elementary School Mathematics
5	11:30	A-5 袴田綾斗 (高知大学)・上ヶ谷友佑 (広島大学附属福山中・高等学校)・早田透 (鳴門教育大学)		C-5 松島充 (香川大学)・清水顕人 (香川県教育委員会事務局西部教育事務所)	D-5 大越健斗 (東京大学大学院生)	E-5 河村真由美 (広島大学大学院生)	F-5 Otgonbaatar Khajidmaa (広島大学大学院生)
	12:00	間接的アーギュメンテーション発生の契機—中学2年生と高校1年生の数学的探究活動の比較—		メタルールの発達とその様相—小学校3年「三角形」実践のコモグニション分析から—	数学教師の授業観の確信背景についての一考察	数学科授業における例の役割に関する研究—例についての研究の現状と課題—	Developing a Theoretical Framework for Social and Emotional Skills in Mathematics

昼休憩 (12:00～13:00)

全国数学教育学会 令和元年度総会・第50回研究発表会 プログラム

<第2日> 6月30日(日)午後 (於: 埼玉大学全学講義棟1号館)

		A会場 (1-206講義室)	B会場 (1-207講義室)	C会場 (1-302講義室)	D会場 (1-304講義室)	E会場 (1-402講義室)	F会場 (1-403講義室)
6	13:00	A-6 茂野賢治 (東京工芸大学)	B-6 今野晃 (早稲田大学大学院生)	C-6 中西隆 (広島大学大学院生)	D-6 西宗一郎 (広島大学附属三原中学校)	E-6 神保勇児 (東京学芸大学附属大泉小学校)	F-6 Masato Kosaka (福井大学), Nagisa Nakawa (関東学院大学), Satoshi Kusaka (広島大学大学院生), Koji Watanabe (宮崎国際大学), Takuya Baba (広島大学)
	13:30	生徒の極限の近接に対する見方の移行—Nagleの極限概念構築モデルによる中学数学関数授業の分析から—	高等学校数学科の題材の数学的分析～いかにして大学で学ぶ数学を活かすか～	学ぶ内容と学び方から見た高校数学教育の在り方について	「同様に確からしい」の概念形成に関する一考察	児童の社会的価値観が表出する社会的オープンエンドな問題の考察(2)	Children's process of counting and composing numbers with locally available material; developing a new assessment tool
7	13:35	A-7 石川雅章 (広島大学大学院生)	B-7 齋藤雄 (埼玉大学大学院生)	C-7 井上秀一 (拓殖大学)	D-7 石橋一昂 (広島大学大学院生・日本学術振興会特別研究員)	E-7 木根主税 (宮崎大学)・添田佳伸 (宮崎大学)・渡邊耕二 (宮崎国際大学)	F-7 Valérie Batteau (上越教育大学), Minbom Ryu (上越教育大学大学院生), Takeshi Miyakawa (早稲田大学)
	14:05	数学的モデル化過程における数学的概念形成の位置—中学校関数領域の現状と課題—	H. Freudenthalによる教授学的現象学の実行可能性の考察	三角関数の授業構成の再考	初等中等教育における条件付き確率に関する教材開発	数学教育における生徒の価値観形成に及ぼす教師の影響に関する研究—国際比較調査「第三の波」質問紙WIFI tooを用いた宮崎県データ分析(2)—	Collective problem solving in Japanese primary mathematics lesson
休憩 (14:05～14:20)							
8	14:20	A-8 内田敦也 (埼玉大学大学院生)	B-8 山本啓太 (広島大学大学院生・広島県立安芸府中等高等学校)	C-8 川内充延 (兵庫教育大学)・渡邊公夫 (元早稲田大学)	D-8 迫田彩 (広島大学大学院生)	E-8 青木由香利 (東海大学)・渡辺信 (生涯学習数学研究所)・青木孝子 (東海大学)	/
	14:50	生徒の自己肯定感を高める数学の指導法に関する研究—認知的コンフリクトと自己肯定感のつながり—	2次不等式の学習における生徒の思考の変化に関する研究—知識リソースの適用に焦点を当てて—	The Out-In Complementary Principleの教材化—数の拡張に応じた長方形の面積概念の形成—	生涯学習における個人の「数学」に関する一考察	日本で数学を学ぶ留学生の意識調査	
9	14:55	A-9 紙本裕一 (東京未来大学)	B-9 水口鑑 (埼玉大学大学院生)	C-9 青木孝子 (東海大学)	D-9 渡辺信 (生涯学習数学研究所)	E-9 中和渚 (関東学院大学)・木村光宏 (横浜国際高等学校)	/
	15:25	数学的な技能の獲得による芸の精神の修得についての考察	数学の道具性に着目した数学的知識に関する研究	多面体教育の実践	「Out School」の学習」の存在—生涯学習の視点の明確化—	国際バカロレア認定校のディプロマプログラム(DP)準備段階における英語使用と生徒の学習の現状—統計内容に注目した探索的調査—	
閉会行事 (15:35～15:45) (A会場: 1-206講義室)							